



一人ひとり一つひとつを大切に。

三井住友海上きらめき生命

三井住友海上きらめき生命保険株式会社

人事総務部 〒101-8458 東京都千代田区神田錦町 3-11-1

TEL:03-5282-7111(代表)

<http://www.ms-kirameki.com>

平成20年度決算のお知らせ

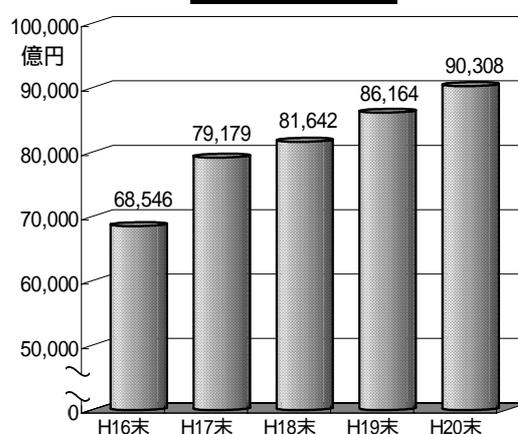
三井住友海上きらめき生命保険株式会社(社長 佐々木 静)の平成20年度(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の決算をお知らせいたします。

〔保有契約高〕

保有契約高(個人保険・個人年金保険)は、前年度比4.8%の増加となりました。

個人保険・個人年金保険	9兆308億円
総保有契約高(含む団体保険)	11兆6,221億円

保有契約高の推移



〔年換算保険料(保有契約)〕

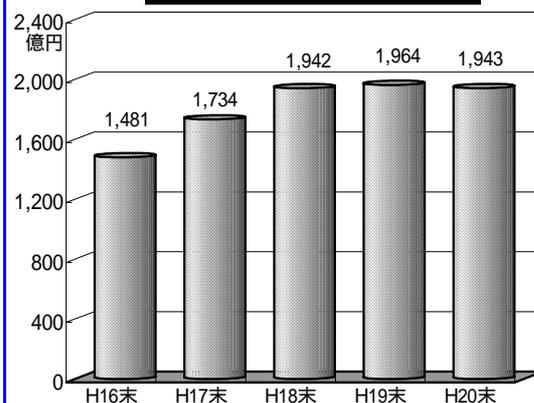
年換算保険料(保有契約:個人保険・個人年金保険)は、前年度比1.1%減少・1,943億円となりました。うち第三分野は、前年度比14.8%増加・288億円となりました。

〔実質当期純利益〕

当社の責任準備金は、保険業法施行規則第69条第4項第4号の規定に基づいて5年チルメル式により計算した金額のほか、保険業法上の標準責任準備金積立を達成するため、当年度の収益力をファンドに責任準備金を積増しています。当年度の積増し額は38億円(前年度67億円)となりました。

当期純利益は、この積増しにより44百万円となっていますが、積増しがなかった場合の実質当期純利益は24億円となりました。

年換算保険料(保有契約)の推移



〔ソルベンシー・マージン比率 2,069.1%〕

引き続き高水準の支払余力を確保しています。

〔当社の格付け〕(2009年5月20日現在)

AA スタンダード&プアーズ(S&P)保険財務力格付け

AA 格付投資情報センター(R&I)保険金支払能力格付け

エンベディッド・バリュー(EV)の状況を別途開示しておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

平成20年度末EVは、1,886億円となり、前年度末対比で7.6%・133億円(うち新契約価値58億円)増加しました。

本件に関するお問い合わせ先

三井住友海上きらめき生命保険株式会社

人事総務部	社会コミュニケーショングループ長	山口 高頭
経理財務部	主計グループ長	鈴木 登

:03-5282-8505



<< 目次 >>

1. 主要業績	1 頁
2. 平成 20 年度末保障機能別保有契約高	3 頁
3. 平成 20 年度決算に基づく契約者配当の状況	4 頁
4. 平成 20 年度の一般勘定資産の運用状況	5 頁
5. 貸借対照表	10 頁
6. 損益計算書	14 頁
7. 経常利益等の明細(基礎利益)	16 頁
8. 株主資本等変動計算書	17 頁
9. 債務者区分による債権の状況	18 頁
10. リスク管理債権の状況	18 頁
11. ソルベンシー・マージン比率	19 頁
12. 平成 20 年度特別勘定の状況	20 頁
13. 保険会社及びその子会社等の状況	20 頁
(参考)証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	20 頁

平成20年度決算のお知らせ

平成21年 5月20日
三井住友海上きらめき生命保険株式会社

当社の平成20年度決算の概要は以下のとおりです。

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

	平成19年度末				平成20年度末			
	件数		金額		件数		金額	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比	
個人保険	920	107.8	82,971	105.7	1,010	109.7	87,155	105.0
個人年金保険	65	102.8	3,193	100.5	65	101.2	3,152	98.7
団体保険	-	-	24,889	97.2	-	-	25,913	104.1
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

新契約高

(単位：千件、億円)

	平成19年度				平成20年度			
	件数	金額			件数	金額		
		新契約	転換による純増加			新契約	転換による純増加	
個人保険	145	14,616	14,616	-	177	16,204	16,204	-
個人年金保険	5	441	441	-	4	334	334	-
団体保険	-	453	453	-	-	324	324	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

(2)年換算保険料

保有契約

(単位：百万円，%)

	平成19年度末		平成20年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	177,420	101.2	175,516	98.9
個人年金保険	19,038	100.7	18,806	98.8
合計	196,458	101.1	194,322	98.9
うち医療保障・生前給付保障等	25,142	114.1	28,862	114.8

新契約

(単位：百万円，%)

	平成19年度末		平成20年度末	
		前年度比		前年度比
個人保険	23,500	62.0	24,257	103.2
個人年金保険	2,194	92.0	1,805	82.3
合計	25,694	63.8	26,062	101.4
うち医療保障・生前給付保障等	5,176	140.6	6,064	117.2

(注)

- 1.年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
- 2.「うち医療保障・生前給付保障等」欄には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を記載しています。

(3)主要収支項目

(単位：百万円，%)

	平成19年度		平成20年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	222,233	99.2	220,889	99.4
資産運用収益	16,304	115.8	19,559	120.0
保険金等支払金	97,407	116.5	123,959	127.3
資産運用費用	150	13.5	425	283.4
経常利益	2,690	88.8	2,325	86.4
契約者配当準備金繰入額	2,182	84.9	1,775	81.4
当期純利益	55	253.0	44	81.0
繰越利益剰余金	288	123.6	333	115.5

(4)総資産

(単位：百万円，%)

	平成19年度末		平成20年度末	
		前年度末比		前年度末比
総資産	999,763	112.0	1,075,126	107.5

2. 平成20年度末保障機能別保有契約高

(単位：千件、億円)

項目	個人保険		個人年金保険		団体保険		合計		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
死亡保障	普通死亡	1,010	87,155	63	796	9,076	25,908	10,150	113,860
	災害死亡	156	8,924	0	4	125	246	281	9,175
	その他の条件付死亡	52	580	-	-	0	3	53	583
生存保障	263	4,034	65	3,152	0	4	329	7,191	
入院保障	災害入院	400	24	0	0	85	0	486	25
	疾病入院	419	25	0	0	-	-	419	25
	その他の条件付入院	409	32	0	0	0	0	410	32
障害保障	61	-	0	-	129	-	190	-	
手術保障	562	-	0	-	-	-	562	-	

項目	医療保障保険	
	件数	金額
入院保障	29	0

(注)

1. 団体保険および医療保障保険(団体型)の件数は被保険者数を表します。
2. 個人保険の「生存保障」欄には介護保障特約、新介護保障特約およびガン診断給付特約の件数・給付金額を含みます。
3. 個人年金保険および団体保険(年金特約)の「生存保障」欄の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものを表します。
4. 「入院保障」欄の金額は入院給付日額を表します。
5. 医療保障保険の「入院保障」欄には、疾病入院に関わる数値を記載しています。

3. 平成20年度決算に基づく契約者配当の状況

(1) 平成20年度決算に基づく契約者配当金の例示

平成20年度決算に基づく、当社5年ごと利差配当付養老保険の契約者配当金を例示しますと次のとおりです。

<例> 5年ごと利差配当付養老保険

30歳加入、30年満期、全期払、男性、年払、保険金1,000万円

加入年度	経過年数	保険料	継続中の契約 (配当金)	死亡契約 (保険金+配当金)
平成11年度	10年	291,200円	0円	10,000,000円
平成16年度	5年	310,980円	0円	10,000,000円

(注)経過年数とは平成21年4月1日から平成22年3月31日の間の契約応当日での経過を示します。

「死亡契約」欄は契約応当日以後死亡の場合の受領金額を示しています。

(2) 平成20年度決算に基づく配当基準利回り

平成20年度決算に基づく、当社5年ごと利差配当付個人保険および5年ごと利差配当付個人年金保険の配当基準利回りは次のとおりです。

これに基づき計算した契約者配当準備金を積み立てました。

保険料払込方法	加入時期	配当基準利回り
年払・半年払・月払	平成11年4月1日以前	1.70%
	平成11年4月2日以降	1.65%
	平成13年4月1日以前	
	平成13年4月2日以降	
一時払	平成11年4月1日以前	1.25%~1.35%
	平成11年4月2日以降	1.40%~1.55%
	平成13年4月1日以前	
	平成13年4月2日以降	1.10%~1.20%
	平成14年7月1日以前	
平成14年7月2日以降	0.75%~0.80%	

なお、契約者配当準備金は契約者配当金として確定したのではなく、今後の運用実績等によって変動(増減)し、支払が発生しないこともあります。

4 . 平成 20 年度の一般勘定資産の運用状況

(1) 平成 20 年度の資産の運用状況

運用環境

平成 20 年度のがわが国経済を振り返ると、エネルギー・原材料価格の上昇を受けて国内民間需要が弱まったことに加え、それまで景気牽引役であった輸出も頭打ちとなったために、実質 GDP 成長率は第 1 四半期より前期比マイナスに転じました。9 月に発生した米リーマンブラザーズ証券の破綻をきっかけに世界同時不況が深刻化し、輸出依存度の高いわが国は年度後半には他の先進国と比較しても大幅なマイナス成長となりました。

国内金利(10 年国債利回り)は、ガソリン価格の上昇などからインフレ懸念が台頭し 6 月には 1.9% 近くまで上昇しましたが、その後は景気悪化が鮮明となり、日本銀行が金融緩和策を進めたことにより年末にかけて大幅に低下しました。1 月以降は景気悪化の中で国債増発に伴う債券需給悪化懸念が台頭し、横ばい圏内の動きとなって期末は 1.3% 台で終了しました。

為替(円の対米ドル相場)は、日米金利差を背景に前半は緩やかに円安が進行し、8 月に一時 110 円台に達しました。後半に入ると米欧金融システム不安や円キャリー取引の巻き戻しから円高トレンドに変わり、12 月から 2 月は 90 円中心の円高水準で推移しましたが、3 月に入り日本の景気大幅悪化・貿易収支マイナスが意識され 95 ~ 99 円の水準まで戻して期末を迎えました。

株式市場(日経平均株価)は、企業業績期待などから 6 月中旬までは緩やかな上昇基調をたどり 14,400 円台に乗せましたが、原材料高による交易条件の悪化や景気悪化が意識され上昇が止まりました。9 月に入り世界的な金融危機を背景に株式売却・キャッシュ化の動きが強まったため、欧米株式につられて大幅に下落、10 月に株式バブル後の最安値を更新しました。その後、各国における各種政策に対する期待もあって下げ止まったものの、低迷したまま 8,000 円台で期末を迎えました。

当社の運用方針

[基本方針]

当社の資産運用におきましては、安全性を最優先とし長期的に安定した収益を確保することを基本方針としております。

[運用対象]

上記の基本方針から、当社は公社債を主な運用対象としております。

運用対象の内訳につきましては、その大部分を国債・社債等の円建債券としておりますが、一部を外貨建債券に投資し、リスクの分散と利回りの向上を図っております。なお、購入に際しては、金利リスク・信用リスク等のリスクを分析し、安全性と収益性に留意した上で銘柄を選択しております。

また、保険約款貸付以外の融資および不動産投資につきましては、現在行っておりません。

運用実績の概況

平成 20 年度末における一般勘定資産の残高は、10,751 億円となり、前年度末比で 753 億円の増加となりました。各資産の増減のうち最大のものは、公社債の 677 億円の増加です。

また、平成 20 年度は資産運用収益を 195 億円、資産運用費用を 4 億円計上した結果、一般勘定資産全体の運用利回りは 1.87% となりました。

(2) 資産の構成

(単位:百万円,%)

区 分	平成19年度末		平成20年度末	
	金額	占 率	金額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	11,706	1.2	12,771	1.2
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	944,609	94.5	1,013,709	94.3
公 社 債	919,456	92.0	987,185	91.8
株 式	604	0.1	299	0.0
外 国 証 券	24,548	2.5	26,224	2.4
公 社 債	24,548	2.5	26,224	2.4
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	24,587	2.5	28,712	2.7
不 動 産	194	0.0	168	0.0
繰 延 税 金 資 産	252	0.0	1,428	0.1
そ の 他	18,514	1.9	18,436	1.7
貸 倒 引 当 金	100	0.0	100	0.0
合 計	999,763	100.0	1,075,126	100.0
うち外貨建資産	24,783	2.5	26,548	2.5

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を表示しています。

(3) 資産の増減

(単位:百万円)

区 分	平成19年度	平成20年度
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	691	1,064
買 現 先 勘 定	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-
金 銭 の 信 託	-	-
有 価 証 券	106,493	69,100
公 社 債	102,795	67,728
株 式	391	305
外 国 証 券	4,089	1,676
公 社 債	4,089	1,676
株 式 等	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-
貸 付 金	2,556	4,125
不 動 産	145	25
繰 延 税 金 資 産	2,676	1,176
そ の 他	220	77
貸 倒 引 当 金	8	0
合 計	107,439	75,363
うち外貨建資産	4,067	1,764

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を表示しています。

(4) 資産運用関係収益

(単位:百万円)

区 分	平成19年度	平成20年度
利息及び配当金等収入	16,231	18,396
預貯金利息	-	-
有価証券利息・配当金	15,510	17,562
貸付金利息	702	804
不動産賃貸料	-	-
その他利息配当金	19	29
商品有価証券運用益	-	-
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	72	1,162
国債等債券売却益	1	1,162
株式等売却益	-	-
外国証券売却益	70	-
その他	-	-
有価証券償還益	-	-
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他運用収益	-	-
合 計	16,304	19,559

(5) 資産運用関係費用

(単位:百万円)

区 分	平成19年度	平成20年度
支払利息	9	3
商品有価証券運用損	-	-
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	132	415
国債等債券売却損	132	74
株式等売却損	-	-
外国証券売却損	-	340
その他	-	-
有価証券評価損	-	-
国債等債券評価損	-	-
株式等評価損	-	-
外国証券評価損	-	-
その他	-	-
有価証券償還損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	1	6
貸倒引当金繰入額	6	0
貸付金償却	-	-
賃貸用不動産等減価償却費	-	-
その他運用費用	-	-
合 計	150	425

(6) 資産運用に係わる諸効率

資産別運用利回り

(単位:%)

区 分	平成19年度	平成20年度
現預金・コールローン	0.10	0.12
買現先勘定	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-
買入金銭債権	0.63	-
商品有価証券	-	-
金銭の信託	-	-
有価証券	1.75	1.89
うち公社債	1.68	1.87
うち株式	4.99	2.67
うち外国証券	4.40	2.50
貸付金	3.06	3.02
不動産	-	-
一般勘定計	1.74	1.87
うち海外投融资	4.40	2.50

(注)

1. 利回り計算式の分母は帳簿価額への日々の平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益 - 資産運用費用として算出した利回りです。
2. 海外投融资とは、外貨建資産と円建資産の合計です。

売買目的有価証券の評価損益

売買目的有価証券は保有していません。

有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	平成19年度末					平成20年度末				
	帳簿価額	時価	差 損 益			帳簿価額	時価	差 損 益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	428,102	438,543	10,441	11,087	645	460,091	477,160	17,069	17,176	106
責任準備金対応債券	4,489	4,710	220	220	-	4,293	4,481	188	188	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	498,733	512,018	13,284	14,406	1,121	538,336	549,324	10,988	12,407	1,419
公 社 債	472,738	486,865	14,126	14,126	0	510,830	522,800	11,970	12,286	316
株 式	392	604	211	211	-	392	299	93	-	93
外 国 証 券	25,601	24,548	1,053	68	1,121	27,113	26,224	888	121	1,010
公 社 債	25,601	24,548	1,053	68	1,121	27,113	26,224	888	121	1,010
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	931,324	955,271	23,947	25,714	1,767	1,002,721	1,030,967	28,245	29,772	1,526
公 社 債	905,330	930,118	24,788	25,434	645	975,215	1,004,443	29,228	29,650	422
株 式	392	604	211	211	-	392	299	93	-	93
外 国 証 券	25,601	24,548	1,053	68	1,121	27,113	26,224	888	121	1,010
公 社 債	25,601	24,548	1,053	68	1,121	27,113	26,224	888	121	1,010
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）本表には、CD（譲渡性預金）等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含むこととしています。

- ・時価のない有価証券は保有していません。

金銭の信託の時価情報

金銭の信託は保有していません。

5. 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成20年度末	科 目	平成19年度末	平成20年度末
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	11,706	12,771	保険契約準備金	935,069	1,011,036
現金	0	0	支払準備金	10,226	10,975
預貯金	11,706	12,771	責任準備金	922,547	998,145
有価証券	944,609	1,013,709	契約者配当準備金	2,295	1,915
国債	622,201	643,530	代理店借	1,782	1,794
地方債	8,596	7,832	再保険借	134	128
社債	288,658	335,822	その他の負債	3,799	4,302
株式	604	299	未払法人税等	423	349
外国証券	24,548	26,224	未払金	140	134
貸付金	24,587	28,712	未払費用	2,455	2,762
保険約款貸付	24,587	28,712	前受収益	0	0
有形固定資産	631	741	預り金	29	33
建物	194	168	り－ス債務	-	51
り－ス資産	-	48	仮受金	749	969
その他の有形固定資産	437	524	退職給付引当金	246	341
代理店貸	39	48	役員退職慰労引当金	107	98
再保険貸	299	122	特別法上の準備金	1,137	1,360
その他の資産	17,737	17,691	価格変動準備金	1,137	1,360
未収金	13,370	13,063	負債の部合計	942,278	1,019,062
前払費用	344	327	(純資産の部)		
未収収益	3,027	3,224	資本金	35,500	35,500
預託金	899	988	資本剰余金	13,214	13,214
仮払金	70	63	資本準備金	13,214	13,214
その他の資産	24	24	利益剰余金	288	333
繰延税金資産	252	1,428	その他利益剰余金	288	333
貸倒引当金	100	100	繰越利益剰余金	288	333
			株主資本合計	49,003	49,048
			その他有価証券評価差額金	8,482	7,015
			評価・換算差額等合計	8,482	7,015
			純資産の部合計	57,485	56,064
資産の部合計	999,763	1,075,126	負債及び純資産の部合計	999,763	1,075,126

(平成 20 年度末 貸借対照表の注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法は次のとおりであります。

- (1) 満期保有目的の債券の評価は、移動平均法による償却原価法(定額法)により行っております。
- (2) 「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第 21 号)に基づく責任準備金対応債券の評価は、移動平均法による償却原価法(定額法)により行っております。

なお、責任準備金対応債券に係る貸借対照表計上額は 4,293 百万円、時価は 4,481 百万円であります。

また、責任準備金対応債券に関するリスク管理方針の概要は以下のとおりであります。

資産・負債の金利リスクの変動を適切に管理するために平成 17 年 12 月より発売した「一時払養老保険」を小区分として設定し、その責任準備金と責任準備金対応債券のデュレーションを一定幅の中で一致させる運用方針をとっております。

- (3) その他有価証券はすべて時価のあるものであり、その評価は 3 月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

2. 有形固定資産の減価償却の方法は、次の方法によっております。

・リース資産以外

平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したもの

旧定率法によっております。

平成 19 年 4 月 1 日以降に取得したもの

定率法によっております。

・リース資産

・所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース期間に基づく定額法によっております。

なお、その他の有形固定資産のうち取得価額が 10 万円以上 20 万円未満のものについては、3 年間で均等償却を行っております。

3. 外貨建資産の本邦通貨への換算は、外貨建取引等会計処理基準に準拠して行っております。

4. 貸倒引当金は、資産の自己査定基準及び償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

当社の貸付金は、その全額が保険約款貸付であり回収が担保されているため、貸倒引当金の計上はありません。それ以外の資産については、それぞれの性質を勘案し、回収の危険性または価値の毀損の危険性の度合いに応じて査定し、その最終の回収額または価値に対する損失見込額を計上しております。

また、上記以外に過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。

5. 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準(「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」平成 10 年 6 月 16 日企業会計審議会)に基づき、当年度末において発生したと認められる額を計上しております。

6. 役員退職慰労引当金は、制度廃止以前の役員に対する退職慰労年金の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき計上しております。

7. 価格変動準備金は、保険業法第 115 条の規定に基づき算出した額を計上しております。

8. リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し 5 年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理しております。

10. 責任準備金は、保険業法第 116 条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については保険業法施行規則第 69 条第 4 項第 4 号の規定に基づいて 5 年チルメル式により計算しております。
 なお、上記の方法により計算された金額のほか、保険業法上の標準責任準備金積立に向け 38,700 百万円を計上しております。
11. 「リース取引に関する会計基準」(平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準第 13 号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号)に伴い、当期より同会計基準及び同指針を適用しております。
 これらの会計基準等の適用が損益に与える影響は軽微であります。
12. 有形固定資産の減価償却累計額は、813 百万円であります。
13. 繰延税金資産の総額は 5,416 百万円、繰延税金負債の総額は 3,972 百万円であります。繰延税金資産の総額から評価性引当額として控除した額は 15 百万円であります。
 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、税法に定める減価償却資産損金算入限度超過額 2,489 百万円、保険契約準備金損金算入限度超過額 1,277 百万円、価格変動準備金 491 百万円及び賞与引当金 290 百万円であります。
 繰延税金負債の発生の原因別内訳は、その他有価証券の評価差額 3,972 百万円であります。
14. 当年度における法定実効税率は 36.15% であり、税効果会計適用後の法人税等の負担率は 86.08% であります。
 その差異の主な内訳は、交際費等永久に損金に算入されないものに係る差異 42.14% 及び住民税均等割額に係る差異 7.55% であります。
15. 貸借対照表に計上したリース資産のほか、リース契約により使用している重要な有形固定資産として電子計算機等があります。
16. 契約者配当準備金の異動状況は、次のとおりであります。
- | | |
|--------------|-----------|
| 前年度末現在高 | 2,295 百万円 |
| 当年度契約者配当金支払額 | 2,155 百万円 |
| 利息による増加等 | 0 百万円 |
| 契約者配当準備金繰入額 | 1,775 百万円 |
| 当年度末現在高 | 1,915 百万円 |
17. 担保に供している資産の額は、有価証券 604 百万円であります。
18. 保険業法施行規則第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金(以下「出再責任準備金」という)の金額は 269 百万円であります。
19. 1 株当たり純資産額は 58,400 円 22 銭であります。
20. 外貨建資産の額は、26,548 百万円であります。(外貨額 241 百万米ドル、21 百万ユーロ)
21. 保険業法第 259 条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は、2,362 百万円であります。
 なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。
22. 退職給付債務に関する事項は次のとおりであります。
- (1) 退職給付債務及びその内訳
- | | |
|---------------------|---------|
| イ 退職給付債務 | 378 百万円 |
| ロ 未認識数理計算上の差異 | 36 百万円 |
| ハ 退職給付引当金(貸借対照表計上額) | 341 百万円 |

(2)退職給付債務等の計算基礎

イ 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
ロ 割引率	1.5%
ハ 数理計算上の差異の処理年数	10年

(発生時の翌年度から定額法により費用処理することとしております。)

23. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

6 . 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成19年度	平成20年度
経常収益	239,140	241,057
保険料等収入	222,233	220,889
保険料	221,858	220,167
再保険収入	374	722
資産運用収益	16,304	19,559
利息及び配当金等収入	16,231	18,396
有価証券利息・配当金	15,510	17,562
貸付金利息	702	804
その他利息配当金	19	29
有価証券売却益	72	1,162
その他経常収益	602	609
年金特約取扱受入金	403	439
保険金据置受入金	123	150
その他の経常収益	76	19
経常費用	236,450	238,732
保険金等支払金	97,407	123,959
保険金	26,322	29,860
年金	929	1,882
給付金	4,825	5,417
解約返戻金	63,889	85,349
その他返戻金	779	815
再保険料	661	634
責任準備金等繰入額	102,582	76,347
支払備金繰入額	1,605	749
責任準備金繰入額	100,976	75,597
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	150	425
支払利息	9	3
有価証券売却損	132	415
為替差損	1	6
貸倒引当金繰入額	6	0
事業費	33,880	35,373
その他経常費用	2,429	2,626
保険金据置支払金	-	116
税金	2,092	2,148
減価償却費	204	264
退職給付引当金繰入額	122	94
その他の経常費用	10	2
経常利益	2,690	2,325
特別利益	-	-
特別損失	211	227
固定資産等処分損	4	5
価格変動準備金繰入額	207	222
契約者配当準備金繰入額	2,182	1,775
税引前当期純利益	296	321
法人税及び住民税	650	623
法人税等調整額	409	346
法人税等合計	240	276
当期純利益	55	44

(平成20年度 損益計算書の注記)

1. 関係会社との取引による収益の総額は24百万円、費用の総額は861百万円であります。
2. 有価証券売却益1,162百万円は、すべて国債等債券によるものであります。
有価証券売却損の主な内訳は、国債等債券74百万円、外国証券340百万円であります。
3. 責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額の金額は33百万円であります。
4. 1株当たり当期純利益は、46円63銭であります。
算定上の基礎である当期純利益及び普通株式に係る当期純利益はともに44百万円、普通株式の期中平均株式数は960千株であります。
5. 退職給付費用の総額は、136百万円であります。なお、その内訳は以下の通りです。

イ 勤務費用	94百万円
ロ 利息費用	3百万円
ハ 数理計算上の差異の費用処理額	-百万円
ニ その他(確定拠出年金への掛金支払額)	39百万円
6. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

7. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	平成19年度	平成20年度
基礎利益 A	3,299	2,214
キャピタル収益	72	1,162
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	72	1,162
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	133	421
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	132	415
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	1	6
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	61	740
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	3,238	2,955
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	548	630
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	541	614
個別貸倒引当金繰入額	6	15
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	548	630
経常利益 A + B + C	2,690	2,325

(注)保険業法上の標準責任準備金積立に向けた積増額は、すべて基礎利益(費用項目)に含めて表示しています。

8 . 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	平成19年度	平成20年度
株主資本		
資本金		
前期末残高	35,500	35,500
当期末残高	35,500	35,500
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	13,214	13,214
当期末残高	13,214	13,214
資本剰余金合計		
前期末残高	13,214	13,214
当期末残高	13,214	13,214
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	233	288
当期変動額		
当期純利益	55	44
当期変動額合計	55	44
当期末残高	288	333
利益剰余金合計		
前期末残高	233	288
当期変動額		
当期純利益	55	44
当期変動額合計	55	44
当期末残高	288	333
株主資本合計		
前期末残高	48,948	49,003
当期変動額		
当期純利益	55	44
当期変動額合計	55	44
当期末残高	49,003	49,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	3,031	8,482
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,450	1,466
当期変動額合計	5,450	1,466
当期末残高	8,482	7,015
評価・換算差額等合計		
前期末残高	3,031	8,482
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,450	1,466
当期変動額合計	5,450	1,466
当期末残高	8,482	7,015
純資産合計		
前期末残高	51,980	57,485
当期変動額		
当期純利益	55	44
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,450	1,466
当期変動額合計	5,505	1,421
当期末残高	57,485	56,064

(平成20年度 株主資本等変動計算書の注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式はすべて普通株式であり、その総数は以下のとおりであります。

前年度末株式数	960千株
当年度増加株式数	-千株
当年度減少株式数	-千株
当年度末株式数	960千株

9. 債務者区分による債権の状況

(単位:百万円)

区 分	平成19年度末	平成20年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-
危険債権	-	-
要管理債権	-	-
小 計	-	-
(対合計比)	(-)	(-)
正常債権	24,907	29,088
合 計	24,907	29,088

(注)

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権とは、3ヵ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3ヵ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3ヵ月以上延滞貸付金を除く。)です。
4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

10. リスク管理債権の状況

該当する事項はありません。

11. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成19年度末	平成20年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	109,255	114,070
資本金等	49,003	49,048
価格変動準備金	1,137	1,360
危険準備金	8,605	9,219
一般貸倒引当金	36	21
その他有価証券の評価差額×90%	11,956	9,889
土地含み損益×85%	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	37,261	43,409
持込資本金等	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	1,254	1,121
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ (B)	10,287	11,025
保険リスク相当額 R_1	5,984	6,288
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,328	1,564
予定利率リスク相当額 R_2	665	656
資産運用リスク相当額 R_3	6,161	6,644
経営管理リスク相当額 R_4	282	303
最低保証リスク相当額 R_7	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,124.0%	2,069.1%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。

<参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	平成19年度末	平成20年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	1,010,426	1,092,384
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	890,470	961,055
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	119,955	131,328
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	10,662	17,257
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	109,293	114,071

(注) 1. 「実質資産負債差額 A」は保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。
 2. 「実質資産負債差額 B」は、「実質資産負債差額 A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したもので、上記1.の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針 - 2 - 2 - 6に基づき計算しています。
 なお、有価証券の時価情報は9ページに記載しています。
 また、各事業年度末における流動性資産(現預金およびその他有価証券)は、平成19年度末:523,724百万円、平成20年度末:562,096百万円です。

12. 平成20年度特別勘定の状況

該当する事項はありません。

13. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当する投資はありません。

以 上